



令和8年2月27日

奈良県田原本町

**無作為抽出の住民が挑む、本音の「ガチンコ対話」
「田原本町住民協議会」いよいよ最終章へ
～第3回会議で議論白熱。最終回で報告書のとりまとめを実施～**

本町では、令和9年度からスタートする「第5次総合計画」の策定にあたり、住民が主体となって議論する「住民協議会（自分ごと化会議）」を実施しています。住民基本台帳から無作為抽出（くじ引き）で選ばれた13歳から80代までの住民が、昨年12月から「町の未来」について議論を重ねてきました。

去る2月14日（土）の第3回会議では、先進地の事例をヒントに「自分たちに何ができるか」を模索。来る4月11日（土）の最終回（第4回）にて、これまでの議論の成果を「報告書」としてとりまとめます。

（※町長への手交式は後日開催を予定しています）

1. 「住民協議会」とは？ ～なぜ今、実施するのか～

人口減少・財政の硬直化という課題に直面する中、従来の「行政任せ」の計画づくりでは立ち行かなくなっています。本協議会は、普段は行政に意見を届ける機会の少なかった方々を含む多様な住民が、地域の課題を「自分ごと」として捉え、行政と共に汗をかく関係性を築くための挑戦です。

2. これまでの歩み（第1回～第2回）

これまでの会議では、あえて結論を急がず、対話を重ねるプロセスを重視してきました。

・第1回：現状を知る

当初より「地域のつながりづくり」「かせぐ地域づくり」「未来を育むまちづくり」の3つの分科会に分かれ、車座になって議論をスタート。「人口減少」や「財政難」といった町全体の厳しい現状や各テーマの課題を共有した上で、町の未来について本音を語り合いました。

・第2回：課題を深掘りする

引き続き3分科会にて、行政サービスへの要望にとどまらず、「自分たちならどう動けるか」という視点で課題を深掘りしました。

【報道資料】

3. 第3回会議の成果 ～先進事例をヒントに～

第3回では、各テーマの先進地で活躍する実践者をナビゲーターに迎えました。

奈良市月ヶ瀬における住民自治・住民共助の取組、大阪府堺市泉北ニュータウンにおけるエリアマネジメントや地域づくりの取組、東京都豊島区における子ども食堂や学習支援の取組といった実践・先進事例からヒントを得ることで、「行政にお願いすること」と「住民ができること」の整理が進み、報告書に向けた方向性が見えてきました。

4. 次回（最終回）の開催概要

住民同士の対話の結晶となる「報告書」を完成させる重要な回です。

第4回会議では、これまでの議論を総括し、第5次総合計画策定の重要な視点となる「報告書」の完成を目指します。

・日 時： 令和8年4月11日（土） 9時～12時（予定）

・場 所： 田原本町役場 301・302会議室 他

※本協議会でまとめられた報告書は、後日改めて日程を調整の上、町長への手交式を行う予定です。この報告書の内容は、令和9年度からスタートする「第5次総合計画」における重要な指針として最大限尊重し、これからの町づくりにしっかりと活かしていきます。



この件に関するお問い合わせ先：

町長公室企画財政課政策企画係

TEL 0744-34-2083